



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和3年度 第6号 6月1日

心は晴れやかに



5月15日に気象台から九州北部・中国・四国地方で梅雨入りの発表があり、中国地方では平年より実に22日も早い梅雨入りとなりました。中国地方の平年の梅雨明けは7月19日ごろですが、やや早まるのではないかと予想もあります。それでも、約2か月の間、雨の多いじめじめする日が続くかと思うと、少し憂鬱な気持ちになります。ずいぶん前になりますが、『いつも心に太陽を唇に歌を』という話を聞いたことがあります。嵐の夜に船が座礁し、暗く冷たい海に投げ出された人々が、「心に太陽を思い浮かべれば体も温かくなる、歌を歌えば勇気が湧いてくる。」と、お互いに励まし合い、歌を歌いながら救助を待った、という内容だったと思います。今私たちの気持ちが暗くなるのは梅雨のためだけではありません。新型コロナウイルス感染症のため、手を消毒すること、マスクをすること、人との間隔を取ること、外出を控えることなど、その一つ一つがストレスとなり、気持ちを暗くさせます。今学校では、大きな声で豊かに歌うことはできませんが、それでも、朝の会や音楽の授業で、子どもたちが口ずさむ歌を聴いていると、少し心が晴れやかになります。

『心に太陽を持って』という詩を見つけたので紹介します。今の私たちにぴったりの詩だと思います。

『心に太陽を持って』
チャーザレ・フライシュレン (訳 山本 有三)

心に太陽を持って。
あらしが ふこうと ふぶきが こようと、
天には黒くも、地には争いが絶えなかりと、
いつも、心に太陽を持って。

くちびるには歌を持って、軽く、ほがらかに。
自分のつとめ、自分のくらしに、
よしや苦勞が絶えなかりと
いつも、くちびるに歌を持って。

苦しんでいる人、なやんでいる人には、
こう、はげましてやろう。
「勇気を失うな。くちびるに歌を持って。心に太陽を持って。」

水泳学習について

昨年度は実施できなかった水泳学習を今年度は実施します。プールでは、マスクをはずすこととなります。そのため、他の教育活動以上に感染症対策をしっかりと行いながら実施したいと思っております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

【主な感染症対策】

- 健康観察記録表や学習前の健康観察により、児童の健康状態を把握し、体調が優れない場合は、水泳学習への参加を見合わせる。
- 更衣は密にならないよう教室など広い場所で行う。
- 更衣やプールへの移動時はマスク着用とする。(マスクはプールサイドではずす。)
- マスクはビニル袋に入れ、各自で管理する。
- プールサイドでは1~2m程度の間隔をあけて座る。
- マスクをはずした状態で不必要な発声はさせない。
- シャワーは背中合わせで間隔をあけ、少人数ずつ無言で行うよう指導する。
- 教員は指導中も原則マスクを着用する。やむを得ずマスクをはずす場合はフェイスシールド等を着用したり、児童から十分距離をとったりする。
- プール水の残留塩素濃度を常に適切に保つようにする。
※「プール水の残留塩素が適切に管理されている場合においては、水中感染のリスクは低い。」(スポーツ庁)とされています。
- 大プールは、コースロープなどによりプール内を区切り、1区画1人とする。一方通行で活動させる。
小プールは、一度に活動できる人数を10人程度とする。
- タオルやゴーグルなどの貸し借りはさせない。
- プールには大小プールを合わせ、1時間に1クラスのみとする。
- ハイタッチエリアを放課後毎日消毒する。



今年も育てています



1年生はアサガオ、2年生はミニトマトのお世話を頑張っています。1年生はランチルームの南側、2年生は芝生の周りにきれいに並べています。1年生のアサガオは、大きな双葉がきれいにそろって、本葉が1、2枚出てきているものもあります。2年生のトマトは60cmぐらいに成長していて、小さい黄色い花をたくさん咲かせています。中にはもう緑色の実を付けているものもあります。

「アサガオは何色の花を咲かせるかな。」「おいしいトマトがいくつできるかな。」そんなことを考えながら、子どもたちは毎日せっせと水やりをしています。大きく育つといいね。



ろうかは歩きます！

昔から学校生活の課題でもある「ろうか歩行」。落ち着いて学校生活を送っている鹿田っ子ですが、休み時間に廊下を走っている児童が少なからずいます。それは1年生も同じ。そこで登場したのが、写真のキャラクター。1年生廊下に並んでいます。岡山っ子スタートサポーターの山田先生作です。

廊下を走ることはけがにつながります。令和元年度4月のけがの数は114件でしたが、今年の4月はその倍以上の286件です。

(去年は休校があり比較できません。) 運動場でのけがが一番多いのですが、廊下を走っていたことが原因のけがも多いそうです。雨の季節、校舎内で過ごすことが増えますが、自分や周りの人がけがをしないよう、廊下は必ず歩いてほしいですね。



6年生、がんばりました。 5月27日

昨年は実施できなかった「全国学力・学習状況調査」が2年ぶりに行われました。6年生は、緊張した面持ちで、国語、算数、学習状況調査に取り組みました。全国では3万校近い学校が参加しています。コロナ禍での学力や学習状況の把握が目的の一つでもあるようです。



学校長のつぶやき ~ひと工夫~

毎年5年生は海の学校に行きます。海の学校には、カッター学習、海洋博物館見学、ロープ学習、手旗信号などたくさんの学習がありますが、海ならではの学習と言えば、「地引網」ではないでしょうか。地引網の学習の中に「網たぐり」という作業があります。砂浜に広げられた網の「浮き」の部分に右肘の内側に乗せ、左手で網をつかんで右腕に乗せていく作業です。網を船まで運ぶため、「網たぐり」の最後は網の束を左脇に挟むのですが、この時必要なのが「ひと工夫」。ただ脇に挟むのでは歩いているときにすれやすいので、「ひとくふう！」と言いながら、右腕で網の束を持ち上げるようにして左脇に挟みます。こうすることで、しっかり挟み込むことができるというわけです。

今の子どもたちは、決まったことや指示されたことにはきちんと取り組むことができます。それはとてもよいことなのですが、いつまでも、誰かが指示してくれるわけではありません。いずれ自分で考え、判断し、行動していくことが求められるようになります。そのためにも、今取り組んでいる自主学習や係活動などに、あと「ひと工夫」してみる、そのような習慣をぜひ身に付けていってほしいと思っています。

